

日本学術振興会ワシントン研究連絡センター概要

令和8年5月

1. 設立年 平成2年度
住所 2001 L Street, N.W. Suite1050, Washington D.C. 20036
2. 体制（令和8年5月現在）
センター長（1名）：運営全般に関する責任者
副センター長（1名）：運営に係る事務全般の総括を担当（資金前渡主任、分任契約担当者）
国際協力員（2名）：大学から派遣される事務職員（国際学術交流研修生*）
現地職員（1名）
3. 活動目的
日本と北米地域との学術交流を促進することを目的とし、対象国の学術振興機関や大学等との連携、本会事業経験者のネットワーク作り、日本の大学の海外活動支援、学術動向把握等の活動を行う。
4. 主な活動内容
 - (1) 海外の学術振興機関との協議その他の連携
 - ・ 国立保健研究所(NIH)、米国国立科学財団(NSF)等、対応機関との情報交換、およびオリエンテーション広報活動の実施。
 - ・ 米国における科学技術関連情報
 - ・ カナダの学術振興関係機関との関係強化
 - (2) 研究者招聘事業その他の振興会事業の海外における実施
 - ・ JSPS-NIHフォーラムおよび事業説明会の実施
 - ・ 研究者招聘事業の実施や関係機関との連絡調整
 - ・ 米国東海岸・中部地域およびカナダの大学等における事業説明会の実施
 - (3) 大学等の海外活動拠点の構築や大学職員の海外研修の実施等を通じた我が国の大学等の海外活動展開の協力・支援
 - ・ 国際協力員の受け入れ、および国際実務研修の実施
 - ・ 日本からの来訪者（大学等職員、研究者等）の対応
 - (4) 日本人研究者も含めた現地のネットワーク構築とフォローアップ活動
 - ・ JSPS同窓会活動の支援
 - ・ 同窓会員主催の学術セミナーへの協力
 - (5) シンポジウムの実施等による我が国の学術情報の発信や海外の学術動向などに関する情報収集
 - ・ 学術シンポジウムの実施
 - ・ 現地の学術動向に係る情報を収集し、ポータルサイトおよびセンターウェブサイトにおいて公開する。
 - (6) その他
5. ホームページ
<http://ispsusa.org>

* 大学等の職員を対象として、国際交流に関する幅広い見識と高度な実務能力を有する専門的な職員の養成を目的とした国際学術交流研修を行っています。受講者は、JSPS東京本部における国際学術交流の実務研修（1年間）、JSPS海外研究連絡センターにおける海外実務研修（1年間）計2年間の研修を受講します。